

3月定例会 代表質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開していますので、ご覧ください。

平明の会 野間 芳実 議員

施政方針について

(質問) 鈴鹿市総合計画2023の推進と組織機構の改革、防災・減災について。

(答弁) 総合計画の体系に全ての事務事業を位置付けるなど、総合計画と予算編成の連動をこれまで以上に図っているほか、年間を通して経営層の職員が政策について協議する場を新たに設置する。また、政策推進やマネジメント機能の拡充を図るための政策経営部の設置をはじめ、

子育てができる環境整備を行うための子ども政策部の設置、危機管理や防災体制を強化するための危機管理部を設置するなど、総合計画2023の実行体制の確立を主な目的とした大胆な組織機構改革を行う。

なお、防災・減災対策では鈴鹿市総合雨水対策基本計画を策定し、浸水被害の軽減を図る。また、津波避難ビルは公共施設13施設と民間施設14施設あり、中でも、若松小学校では収容能力を高めるために、屋上避難用の外付け階段や屋上用転落防止フェンスの設置工事に着手する。

緑風会 宮本 正一 議員

市長の施政方針について

(質問) まち・ひと・しごと創生総合戦略、地域防災力向上、スポーツ関連事業、子育て環境の充実について現状と今後の取り組みについて問う。

(答弁) 人口はピーク時から約4,600人減少している。減少抑制や減少社会に適応できるまちづくり実現に向け計画を策定する。今後も地方創生加速化交付金などを活用した独自事業を推進

する。地域住民自らが作成する「地区防災計画」策定を支援し、「地域防災力向上」につながる体制を整備する。鈴鹿市農業環境改善センター周辺をスポーツレクリエーションエリアとする方向で関係各課と調整を行っている。2019ラグビーワールドカップのキャンプ地誘致について現在情報収集に努めている。子育て世代の経済的負担軽減のため、中学生通院分までの医療費助成拡大や3歳未満の乳幼児の医療費の現物給付（窓口無料化）を平成29年4月から実施できるよう準備を進める。

鈴鹿の風 後藤 光雄 議員

施政方針について

(質問) 住民の皆様が主体性を持って地域づくりに推進できるよう人的、財政的支援を行い、市民参加や協働を推進するための仕組みづくりとして、市内全域での地域づくり協議会の設立に向けて取り組むとは、具体的にどのような取り組みになるのか。

(答弁) 市長を本部長、副市長を副本部長、部局長を本部員として地域づくり推進本部を設置

し、地域づくり推進のための取り組みと、その進捗状況を管理する。平成30年度までに全地区での地域づくり協議会設立の実現に向け、地域の課題を解決するための地域計画を策定するにあたり、次長以下主幹級以上の全職員約470名を地域づくり支援職員と位置付け、地域づくり協議会の設立、再編、地域計画の作成に係る業務に充てる。また、地区市民センター所長を地域づくりコーディネーターとして位置付け中心的な役割を持たせて地域づくり協議会の設立を推進する。

リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

鈴鹿市の現状をどのように見るのか

(質問) 市政運営、市民生活の現状は厳しさが増していると考えますが、施政方針の中では実態に触れられていない。自動車のまち鈴鹿であるがリーマンショック後、生産面で1,600億円以上減ったままであり、法人税収入についても約52億円減ったままである。さらに、本年は法人税の減税もあり、法人税収入は昨年より約2億2,000万円減り14億5,000万円ほどとなる。市民生活では、2007年には就学援助

費を受給する児童生徒数が約1,000人だったが、2015年には約2,000人となり、困窮する家庭の児童生徒数が倍増した。さらに世界経済の減速が進む中で、本市の現状をどう認識しているか。(答弁) 市民の暮らし面、生産面、財政面、それぞれにおいて課題であり、厳しい状況が続いていると認識している。市債残高を抑え将来の財政負担に配慮していく方針である。

その他の質問

- 地元産業や営業を守る取り組みの強化について
- 子どもの未来をつくるための施策について